



MORI SEIKI

THE MACHINE TOOL COMPANY

2006年3月期 決算説明資料

2006年5月10日

本資料には将来の業績見通し及び事業計画等に関する記述が含まれております。
それらにつきましては、各資料の作成時点における経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これらの業績見通しとは異なるリスクや不確実性があることをご承知おき下さい。



売上・利益の大幅増加

決算概要

- **売上高 1,453億円 前年度比19.0%増加。**
2月修正予想から43億円増(過去最高売上高)。
- **営業利益 163億円 前年度比54.9%増加。**
2月修正予想から18億円増。
- **受注は高原で推移。**
- **Mori-568PLAN1年目は目標達成。**

売上計上基準の変更の影響

2006年3月期より、国内における機械本体の売上計上基準を従来の出荷基準から、検収基準に変更しております。

	2006年3月期より	2005年3月期まで
収益認識基準	検収基準	出荷基準
各基準による 当期の実績	売上高: 145,339百万円 営業利益: 16,294百万円	売上高: 147,137百万円 営業利益: 16,848百万円

- 売上高への影響 : 1,798百万円の減少要因。
- 営業利益への影響 : 554百万円の減少要因。
- 変更の理由 : 売上計上基準をより客観性、確実性のある検収基準に変更することにより、出荷から検収に至る管理をより厳密に行い、より一層の品質向上を目指すもの。

出荷から検収までの期間が19日から12日に短縮。



大幅な増収増益を達成

損益計算書(連結)

(百万円)	2005/3期	2006年3月期						
	旧会計方針	新会計方針				旧会計方針		
	通期実績	通期予想(期初)	通期実績	前年比	前年比率	通期実績	前年比	前年比率
売上高	122,166	132,000	145,339	23,173	119.0%	147,137	24,971	120.4%
営業利益	10,517	12,000	16,294	5,777	154.9%	16,848	6,331	160.2%
(売上高比率)	8.6%	9.1%	11.2%	2.6%	-	11.5%	2.9%	-
経常利益	10,504	11,850	15,902	5,397	151.4%	16,456	5,952	156.7%
(売上高比率)	8.6%	9.0%	10.9%	2.3%	-	11.2%	2.6%	-
税引前利益	10,004	10,390	15,154	5,149	151.5%	15,708	5,704	157.0%
当期利益	9,381	9,600	13,801	4,420	147.1%	-	-	-
(換算レート 1US\$=)	(107.58)	(107.00)	(113.93)			(113.93)		
(1EURO=)	(135.68)	(128.00)	(138.12)			(138.12)		



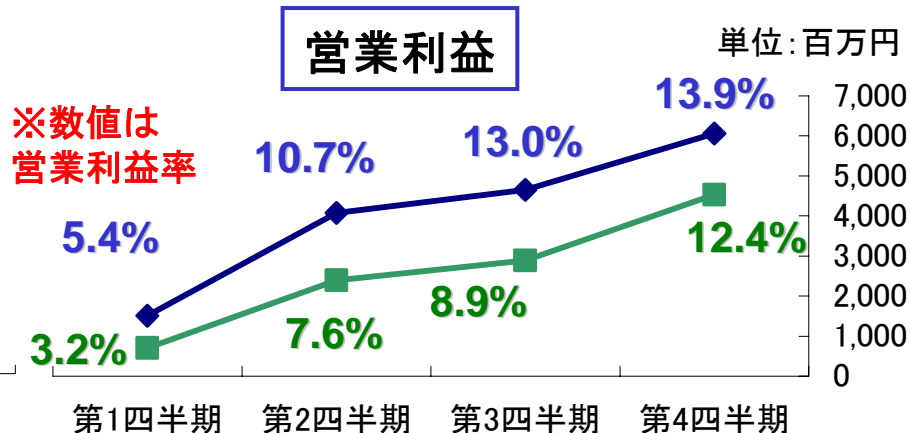
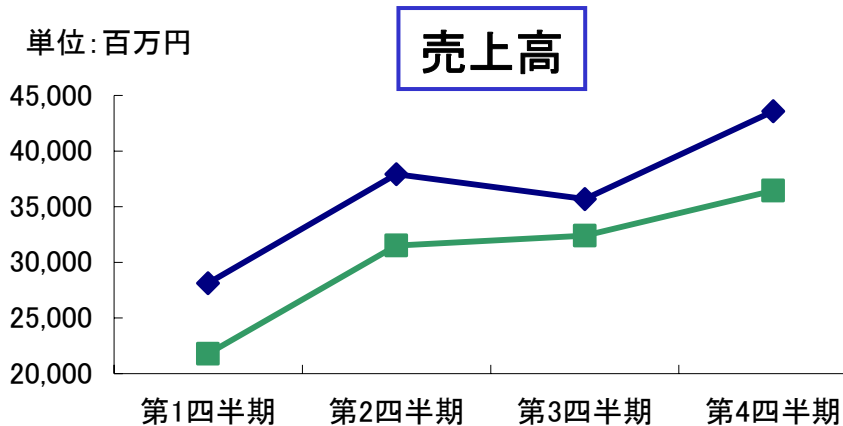
全ての四半期で前年を上回る

売上・営業利益 四半期推移

(百万円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2005年度売上高	28,122	37,920	35,699	43,598
2004年度売上高	21,790	31,521	32,415	36,440
2005年度営業利益	1,505	4,072	4,655	6,062
2004年度営業利益	704	2,397	2,885	4,531

◆ 2005年度売上高 ■ 2004年度売上高

◆ 2005年度営業利益 ■ 2004年度営業利益



潤沢な現預金、好財務を堅持

貸借対照表推移(連結)

(百万円)	2005年3月期		2006年3月期		(百万円)	2005年3月期		2006年3月期	
	3月31日実績		3月31日実績	増減		3月31日実績		3月31日実績	増減
資産の部					負債・資本の部				
流動資産	63,699	89,365	25,666		流動負債	22,742	26,032	3,290	
現金預金	12,775	31,582	18,807		買掛金	8,199	9,697	1,498	
売掛債権	27,765	29,961	2,196		短期借入金	1,370	1,320	-50	
在庫	21,069	25,063	3,994		一年以内返済長期借入金	5,084	5,084	0	
その他	2,090	2,759	669		その他流動負債	8,089	9,931	1,842	
固定資産	71,931	73,413	1,482		固定負債	16,290	19,972	3,682	
建物・構築物	26,972	25,100	-1,872		新株予約権付社債		9,333	9,333	
機械・設備	7,633	5,814	-1,819		長期借入金	12,708	5,124	-7,584	
土地	21,672	21,016	-656		その他固定負債	3,582	5,515	1,933	
無形固定資産	2,704	2,952	248		少数株主持分	156	425	269	
その他固定資産	12,950	18,531	5,581		資本合計	96,442	116,347	19,905	
資産の合計	135,631	162,778	27,147		負債・資本の部合計	135,631	162,778	27,147	
(換算レート 1US\$=)	(107.32)	(117.48)			(換算レート 1US\$=)	(107.32)	(117.48)		
(1EURO=)	(138.75)	(142.80)			(1EURO=)	(138.75)	(142.80)		



主要指標の改善

2005年度主要指標の四半期推移

①株主資本比率改善

(6月末)	(9月末)	(12月末)	(3月末)
65.0%	67.4%	68.6%	71.5%

(利益増加、借入金75億円返済)

②販売管理費比率低下

(4月～6月)	(4月～9月)	(4月～12月)	(4月～3月)
32.6%	29.1%	28.1%	26.9%

(売上増加、運賃減少)

③売上原価率低下

(4月～6月)	(4月～9月)	(4月～12月)	(4月～3月)
62.0%	62.5%	61.8%	61.9%

(製品原価の低減、為替の円安効果)



資産効率向上、株主資本比率70%をキープ

回転期間・自己資本比率推移(連結)

	2005年3月期 通期	2006年3月期 通期	
	通期実績	通期実績	増減
売上債権回転期間	2.73	2.47	-0.26 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.07	2.07	-0.00 ヶ月
仕入債務回転期間	0.81	0.80	-0.01 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	5.88	4.60	-1.28 ヶ月
借入金回転期間(含む社債)	1.88	1.72	-0.16 ヶ月
株主資本比率	71.1%	71.5%	0.4 %



期末残高は2.5倍に、良好なCF

キャッシュフロー計算書(連結)

(単位: 百万円)	2005年3月期 通期	2006年3月期 通期
	2004年4月～ 2005年3月	2005年4月～ 2006年3月
営業活動によるCF	6,853	17,128
投資活動によるCF	-7,014	-3,001
財務活動によるCF	-2,436	4,524
現金および同等物の増加額	-2,708	18,810
現金および同等物の期首残高	15,965	12,772
現金および同等物の期末残高	12,772	31,582

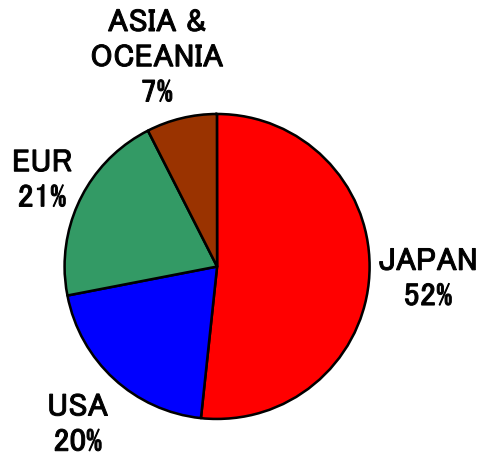
海外売上が大幅伸張

地域別売上高比率

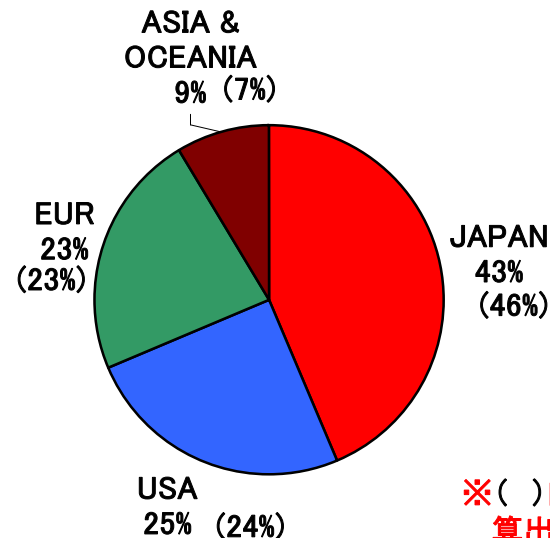
(百万円)		JAPAN	USA	EUR	ASIA & OCEANIA	合計
売上高	2006年3月期 通期	63,218	36,421	33,303	12,397	145,339
	2005年3月期 通期	63,021	25,034	25,108	9,003	122,166
	増減率	100.3%	145.5%	132.6%	137.7%	119.0%

※セグメント:海外売上高ベース

2005年3月期 通期



2006年3月期 通期



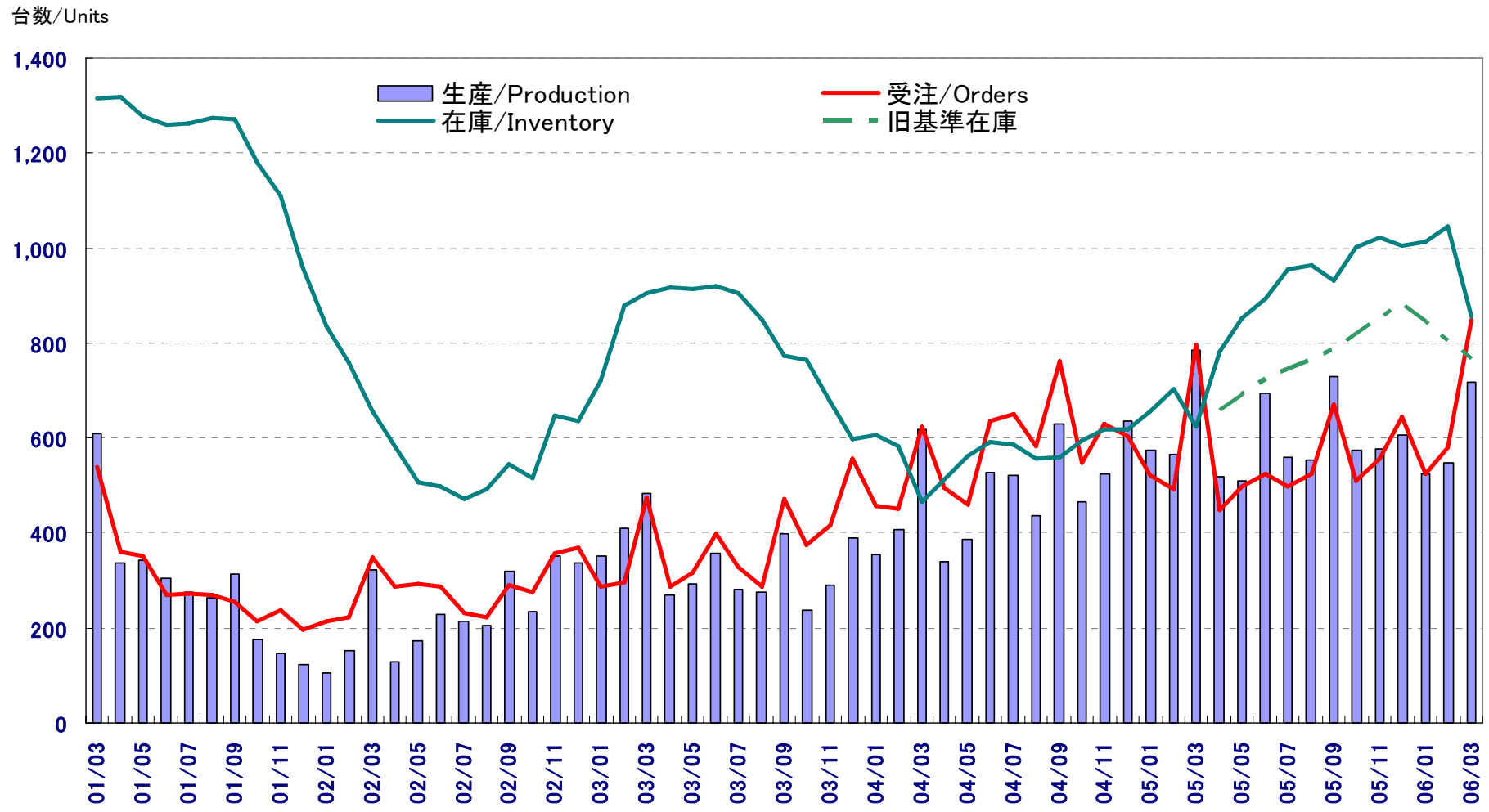
※()内は従来の基準で算出した売上の割合

※2006年3月期のうち、米州:984、欧州:432、アジア:2,569 (単位:百万円) は、日本で売り上げ、海外で据付した分を各地域で計上しております。



生産・受注は増加し、在庫は減少

生産・受注・在庫台数推移





Mori-568プランの目標達成

中期計画1年目結果

2005年度の結果

Mori-5	目標	実績
・売上	1,410億円	1,453億円 ○
(世界シェア)	4.0%	4.2%) ○

Mori-6	目標	実績
・連結売上原価率	64%	61.9% ○

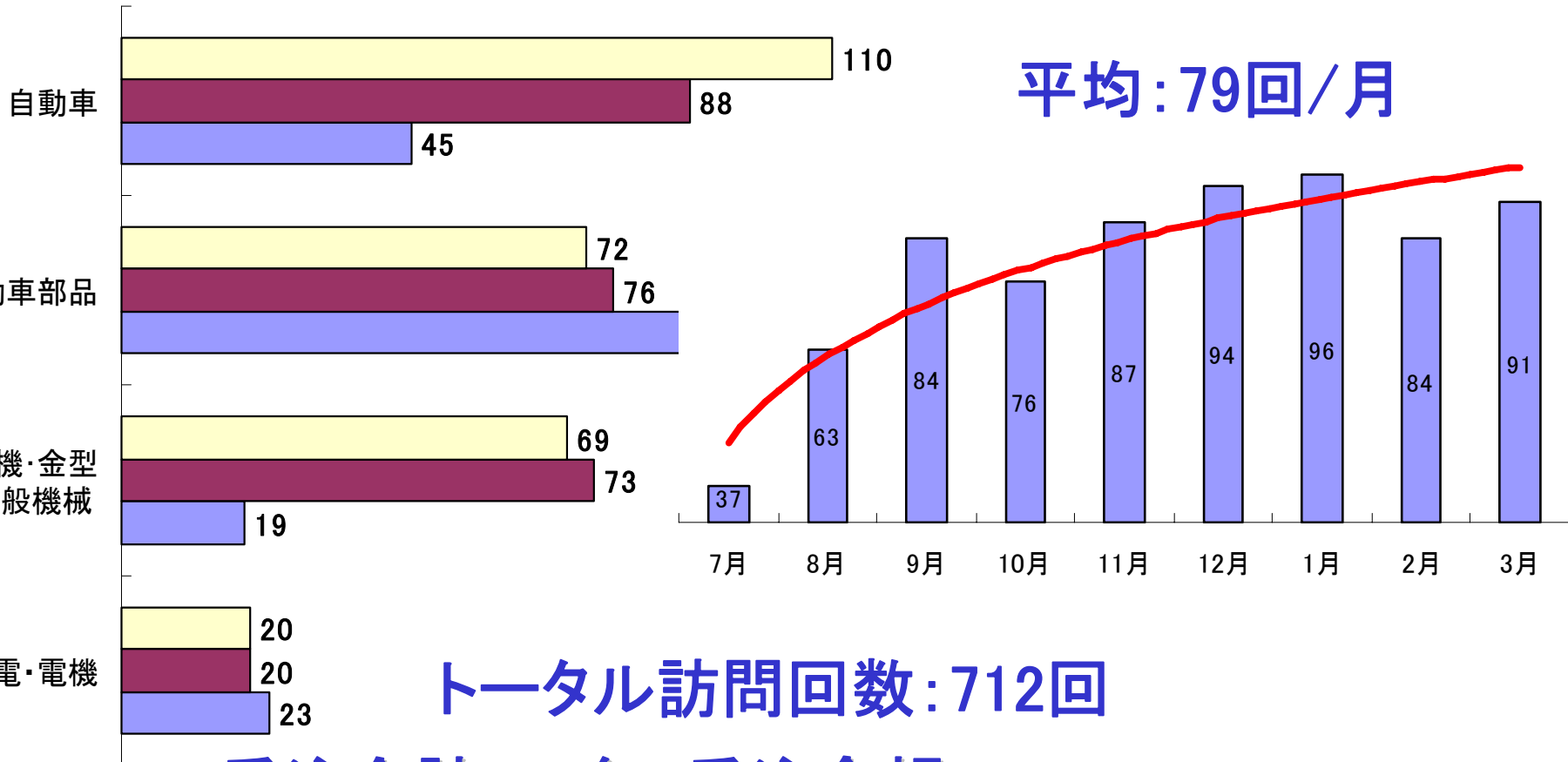
Mori-8	目標	実績
・月産	608台	592台(年間平均)
		3月717台 ○



Mori-5の効果 大口顧客の開拓進む

重要顧客部の活動成果

■ 第2QT ■ 第3QT ■ 第4QT



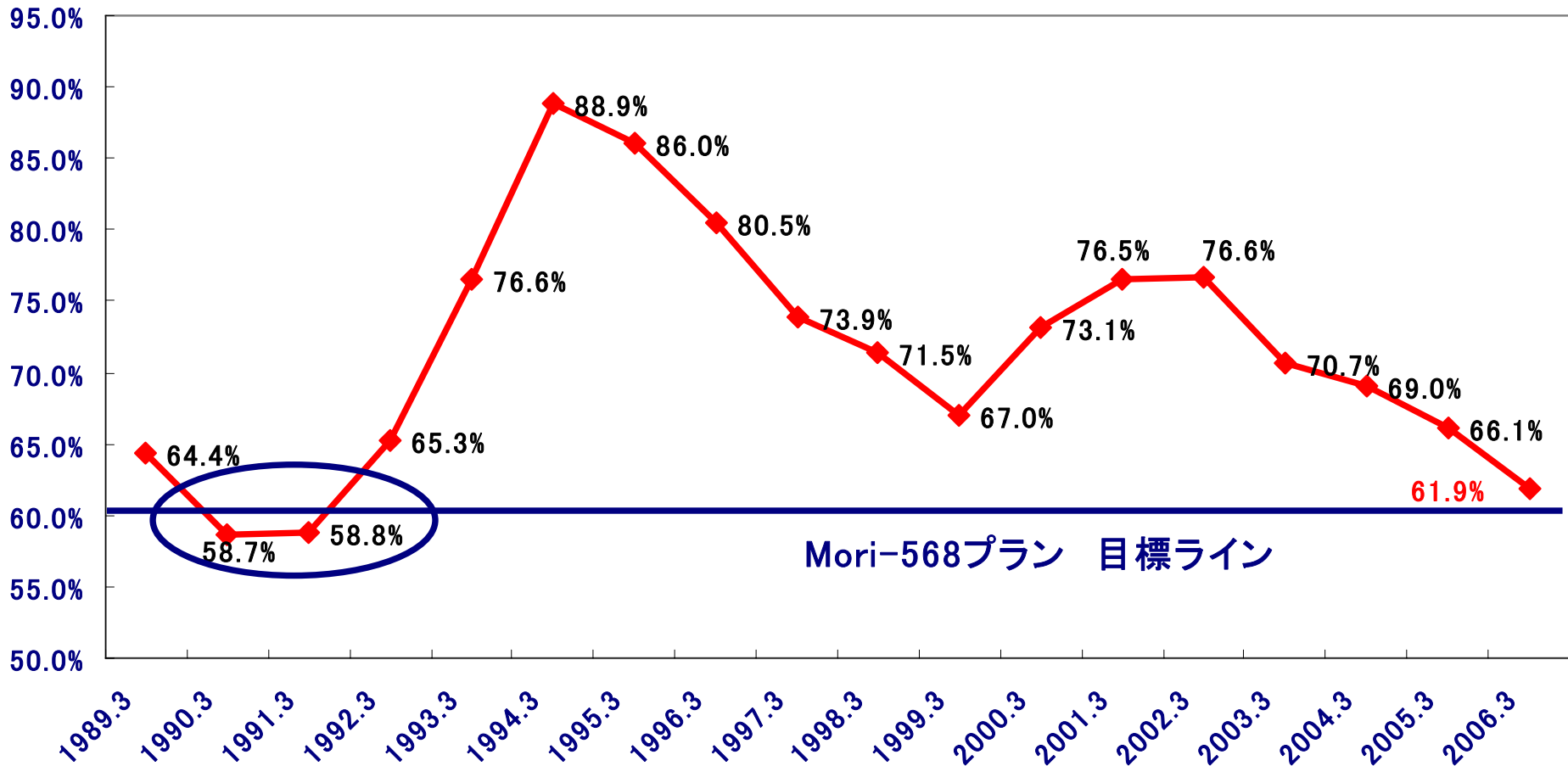
トータル訪問回数: 712回

受注合計: 42台、受注金額: ¥1,021,008,219



Mori-6の効果 Nシリーズ効果により 原価率低減

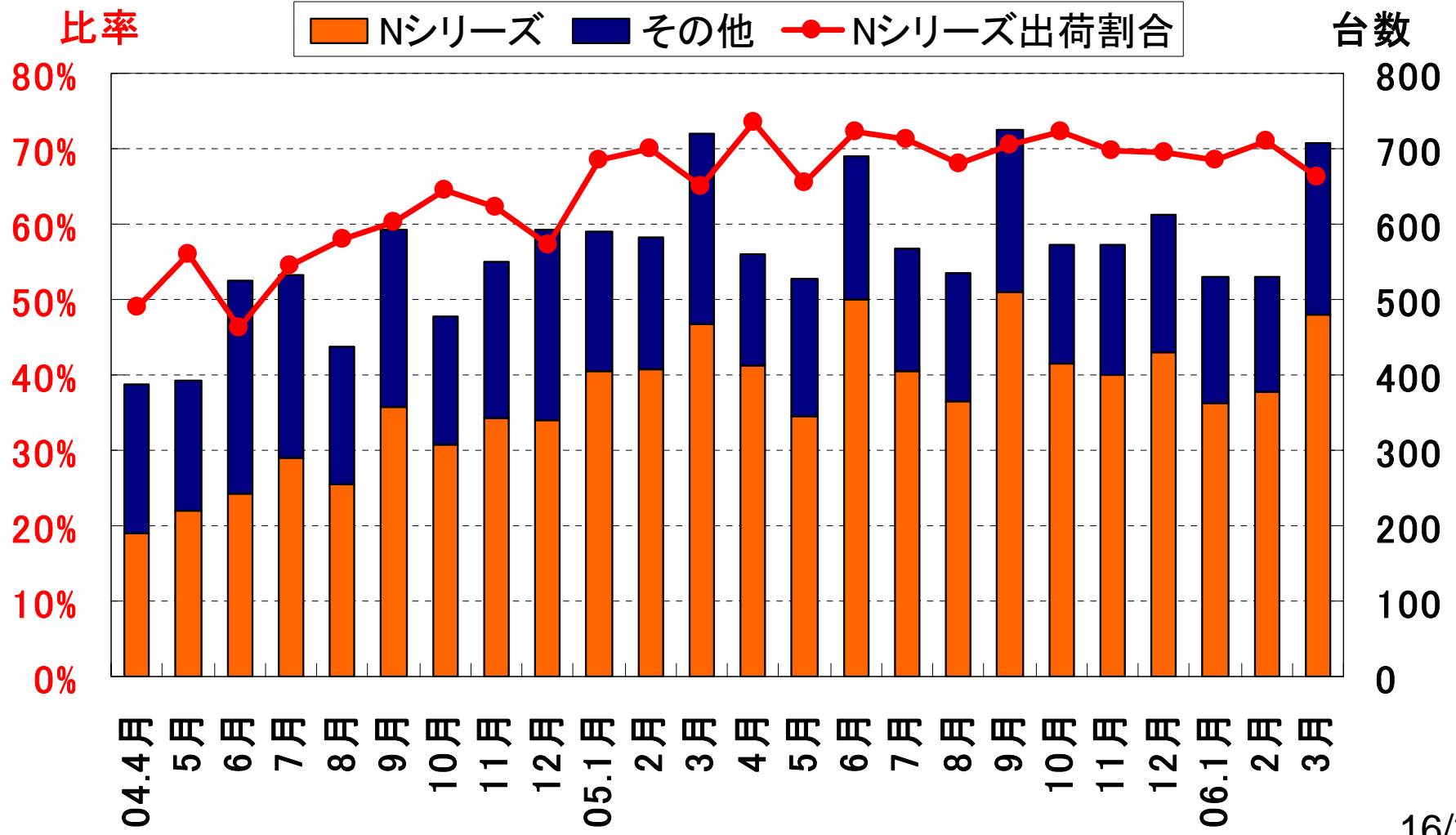
売上高原価率推移





Nシリーズ出荷割合高まる

出荷台数の推移





今期もさらなる成長見込む

2007年3月期予想概要

- 売上高 1,575億円 前年度比8.4%増加。
- 営業利益 200億円 前年度比22.7%増加。
- Mori-568PLAN2年目も見通し良好。
- DURA投入による製品ラインアップの拡充。
- NTの本格生産 6月より開始。



営業利益200億円を目標

2007年3月期通期 連結業績予想

(百万円)	2006/3期	2007年3月期			
	通期実績	中間期予想	通期予想	前年比	前年比率
売上高	145,339	74,000	157,500	12,161	108.4%
営業利益	16,294	8,800	20,000	3,706	122.7%
(売上高比率)	11.2%	11.9%	12.7%	—	—
経常利益	15,902	8,400	19,500	3,598	122.6%
(売上高比率)	10.9%	11.4%	12.4%	—	—
税引前利益	15,154	—	—	—	—
当期利益	13,801	4,700	11,200	-2,601	81.2%
(換算レート 1US\$=)	(113.93)	(107.00)	(107.00)		
(1EURO=)	(138.12)	(128.00)	(128.00)		



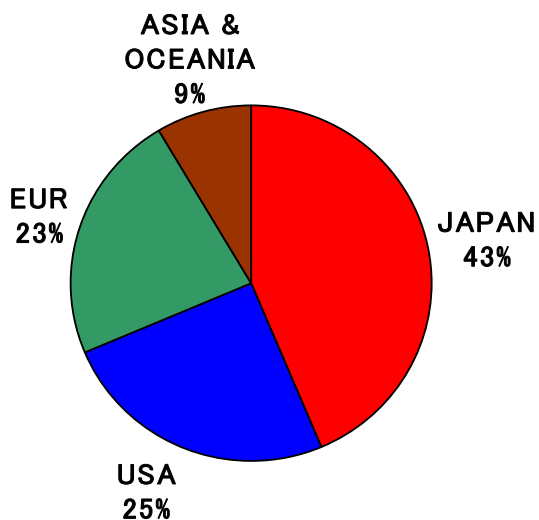
国内・アジアの成長見込む

2007年3月期通期 地域別売上目標

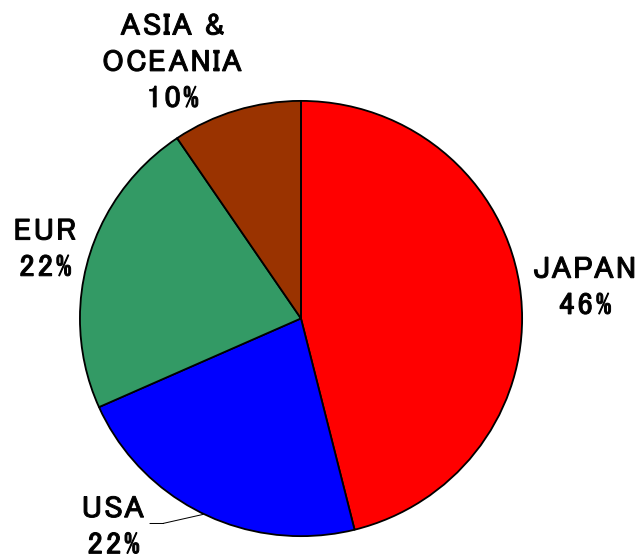
(百万円)		JAPAN	USA	EUR	ASIA & OCEANIA	合計
売上高	2007年3月期 通期 (現地通貨ベース)	72,500	35,000	35,000	15,000	157,500
		-	327(100万\$)	273(100万EUR)	-	-
	2006年3月期 通期 (現地通貨ベース)	63,218	36,421	33,303	12,397	145,339
		-	320(100万\$)	241(100万EUR)	-	-
増減率 (現地通貨ベース)		114.7%	96.1%	105.1%	121.0%	108.4%
			102.2%	113.3%		

※セグメント：海外売上高ベース

2006年3月期 通期



2007年3月期 通期





グローバルワンに向け、中期計画2年目へ

中期計画2年目目標

2007年3月期の目標

Mori-5	2006年3月期	2007年3月期
・売上	1,453億円	⇒ 1,575億円 (世界シェア 4.5%)
Mori-6	2006年3月期	2007年3月期
・連結売上原価率	61.9%	⇒ 62.0%
Mori-8	2006年3月期	2007年3月期
・月産	592台	⇒ 644台

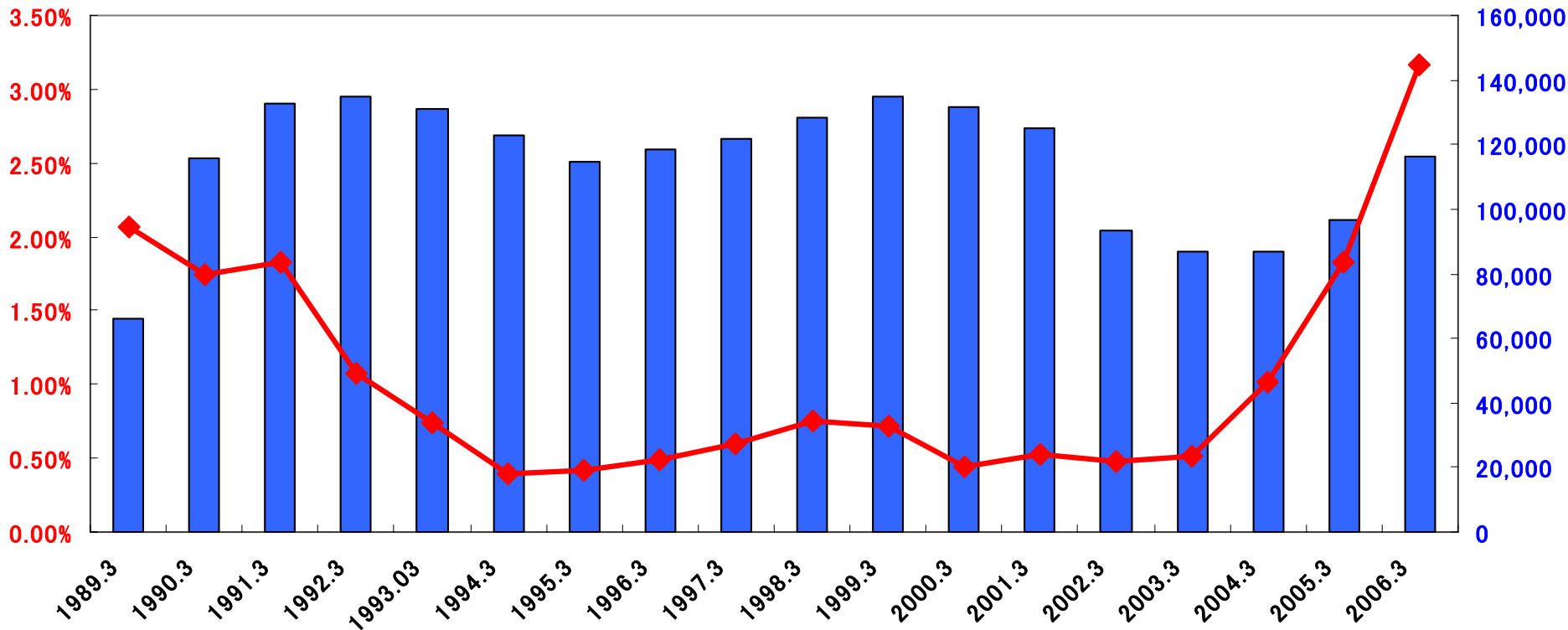


株主資本配当率5%を目指す

株主資本配当率推移

■ 資本合計 ◆ 配当金／資本

単位：百万円



$$\text{株主資本配当率} = \text{配当金} / \text{株主資本}$$



Mori-568プラン2年目 目標達成に向けて

営業・サービス拠点拡充

2005年新規開設TC(海外)

- ・MS-Pollard (イギリス)
- ・プラハテクニカルセンタ(チェコ)



**2006年 ロシアに開設予定
インドに建設予定**



営業・サービス拠点拡充

2005年新規開設TC(国内)

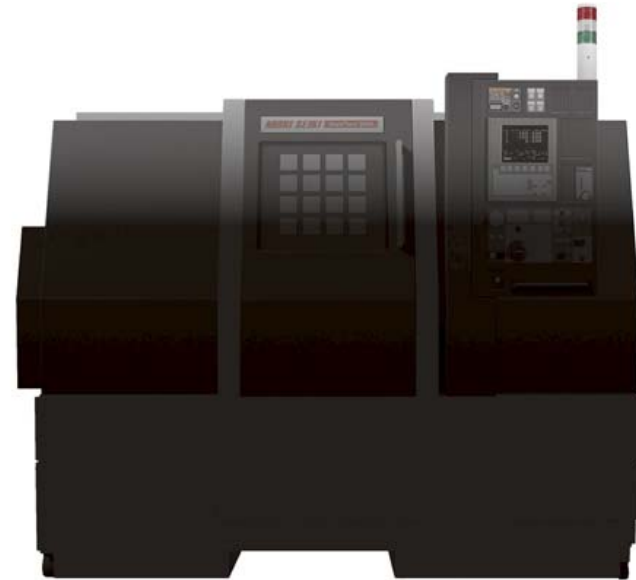
- ・新潟テクニカルセンタ
- ・尼崎テクニカルセンタ
- ・滋賀テクニカルセンタ
- ・MFプロジェクトセンタ
- ・東京テクニカルセンタ
- ・品川テクニカルセンタ



Dura Series 販売開始



DuraVertical



DuraTurn

DURAのコンセプト

Durable (長く使える)
Universal (いつでも・どこでも使える)
Reliable (信頼のある・壊れない)
Affordable (お値打ち
& **A**ccurate 精度がよい)



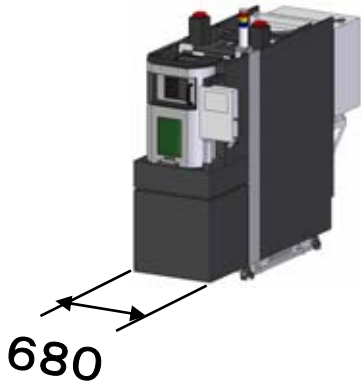
複合加工機 NT

千葉第二工場の竣工により生産能力増強



2005年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日本経済新聞賞 受賞

量産部品加工用MC NX

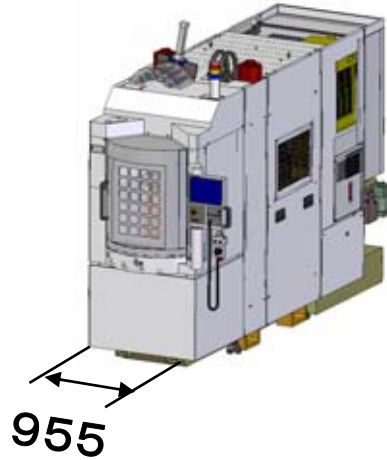


NX2000

H·V·T



$\phi 140 \times 100$

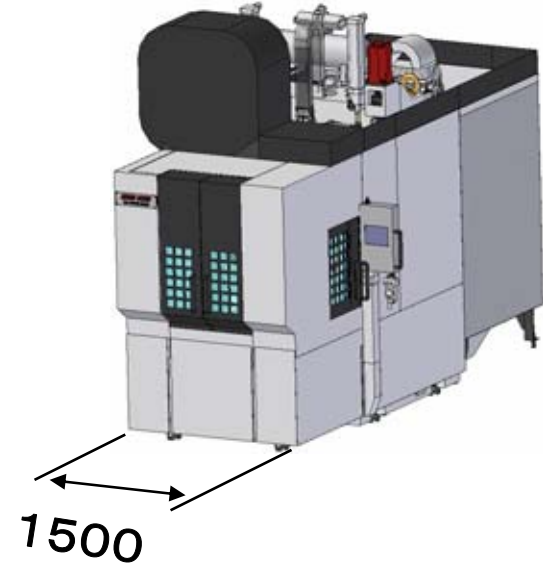


NX3000

H·V

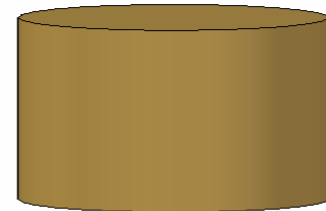


$\phi 400 \times 400$



NX4000

H



$\phi 700 \times 700$

テーブル上最大振り回し

2005年度の新建設工場・建物



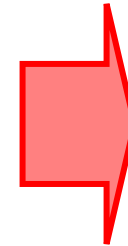
- ・太陽工機新工場(6月)
- ・熱処理工場(9月)
- ・コージェネセンター(11月)
- ・千葉第二工場(2月)
- ・鋳物工場(3月)



内製取り組みの効果(熱処理)

熱処理工程のリードタイム変化

	外注時	内製
浸炭	8. 9日	3日
イオン窒化	7日	3日
高周波焼入れ	4. 6日	1日



内製化率(個数ベース)

- 浸炭 : 71%
- イオン窒化 : 38%
- 高周波焼入れ : 91%

今期も工場増設で生産能力増強

完成予定工場

- 伊賀板金工場(2006年8月完成予定)

- 本体 : 35%
- 制御板 : 50% の内製化(台数ベース)
- 建物:6.8億円、機械加工用設備:6億円



- 伊賀精密棟主軸工場(2006年8月構築完了予定)

- 主軸の一貫生産工場を精密棟に構築、品質向上へ
- 工場改修(精密棟・恒温室・第1工場):3.9億円、
設備機械移設:0.7億円、第一工場空調:0.6億円



設備投資計画進捗は順調

設備投資状況

2006年5月10日現在

中期計画での総投資計画額220億円のうち、

135.5億円を発注済。

主な設備投資:

千葉事業所第2工場新築工事	9億円
蓼科セミナーハウス新築工事	9億円
伊賀事業所鋳物工場新築工事	6億円
三井精機製研削盤7台	6億円
コマツガトリングプレスセンター2台	3億円
ミットヨ製大型CNC3次元測定機2台	2億円
リースで東芝機械マシナリー製の5面加工機10台	19億円
板金工場	7億円
板金工場設備	3億円

2005年度 設備投資額
減価償却額

109億円(内リース 37億円)
53億円(十年間設備リース料 12億円)



ナレッジマネジメント

- 効率の良い設計体制
- 効率の良いエンジニアリング体制

||

設計におけるナレッジマネジメントの洗練



ITの積極活用

- **Mori-NET 6月稼働開始**
 - お客様の機械を常時モニタリング
 - サービスの迅速化、質の向上
- **情報技術本部の設立**
 - 開発・情報システム部門から人材投入
 - 100人体制での運用
- **グローバル会計の導入**
 - 決算の早期開示が可能に

内部統制・CP

- **内部統制**
 - － 内部監査室設置
 - － 1年前倒しでJ-SOXへの対応
- **CP (Compliance Program)**
 - － 輸出管理



社員教育

- **森精機ユニバーシティ**
 - 米国にて技能研修センターの立ち上げ
- **教育体制の充実**
 - 売上高の約1%を社員教育費用に



展示会予定

- **MACH2006**: 5月15日～5月19日
 - － バーミンガム(イギリス)
- **METAV**: 6月20日～6月24日
 - － デュッセルドルフ(ドイツ)
- **初夏プロダクティビティショー**: 6月22日～6月24日
 - － 森精機製作所 伊賀事業所(三重県)
- **IMTS2006**: 9月6日～9月13日
 - － シカゴ(アメリカ)
- **BIMU2006**: 10月5日～10月10日
 - － ミラノ(イタリア)
- **JIMTOF2006**: 11月1日～11月8日
 - － 東京ビックサイト

MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY

